

今夏の節電のお願い（ご家庭の皆様）

関西広域連合では、今夏の電力需給の逼迫が深刻であることから、以下のとおり節電目標等を定め、一層の節電対策を進めていくこととしています。ご家庭の皆様におかれましては、電力不足の現状にご理解をいただくとともに、節電対策の取組みにご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

今夏の節電目標等

【目標】平成22年度比で15%以上の節電

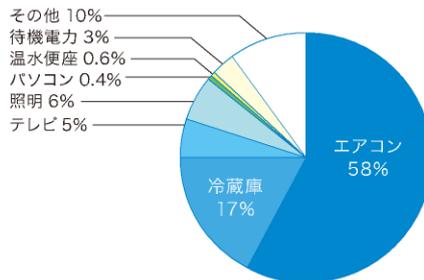
【期間】7月2日(月)から9月7日(金)までの平日（8月13日(月)～15日(水)を除く）

【時間】9時から20時まで

加えて、上記節電に支障の生じない範囲で、揚水発電の供給量増のため、早朝（7時～9時）や夜（20時～25時）に市民生活や経済活動に支障を生じない範囲での節電にご協力をお願いいたします。

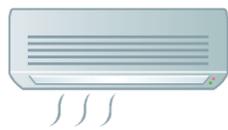
節電について具体的にお願いたいこと

◎夏の昼間（14時頃）の電気機器の使用例（在宅世帯の例）



エアコンをはじめ、冷蔵庫など、消費電力の割合が高い電化製品の節電をしていただくと効果的です。

経済産業省「夏の節電メニュー（ご家庭の皆様）」（平成24年5月）より



エアコン

室温28℃を目安に設定してください。
（設定温度を2℃上げた場合）

10%削減*

“すだれ”や“よしず”などで、日差しを和らげてください。

10%削減*

※エアコンの控え過ぎによる熱中症などにご注意いただき、無理のない範囲で節電にご協力をお願いいたします。



冷蔵庫

冷蔵庫の設定を「強」から「中」に。開閉は少なく、つめこまないでください。

2%削減*



テレビ

画面の輝度を下げ、必要なとき以外は消してください。
（標準→省エネモードに設定し使用時間を2/3に減らした場合）

2%削減*



照明

不要な照明を消してください。

5%削減*



待機電力

主電源を切り、使わない機器はコンセントからプラグを抜いてください。

2%削減*

*節電効果の記載値は、在宅家庭の日中の最大使用時（約1,200W）に対する削減率の目安です。（資源エネルギー庁推計）【参考】経済産業省「夏の節電メニュー（ご家庭の皆様）」（平成24年5月）

日中に在宅されていないご家庭においても、冷蔵庫や待機電力などの節電対策にご協力をお願いいたします。節電の取組みにあたっては、保健衛生上、安全上等に支障をきたさないよう、十分ご配慮ください。

■ご家庭の節電対策チェックシート

ご家庭で取り組める対策をチェックしていただき、削減率の合計が15%以上となるよう節電にご協力をお願いいたします。

お願いしたいこと	節電効果* (削減率)	チェック
エアコン ※エアコンの控え過ぎによる熱中症などにご注意いただき、無理のない範囲で節電にご協力をお願いいたします。		
室温28℃を目安に設定してください。(設定温度を2℃上げた場合)	10%	<input type="checkbox"/>
“すだれ”や“よしず”などで、窓からの日差しを和らげてください。(エアコンの節電になります)	10%	<input type="checkbox"/>
無理のない範囲でエアコンを消して、扇風機を使用してください。	50%	<input type="checkbox"/>
★冷蔵庫 ※食品の傷みにご注意ください。		
冷蔵庫の設定を「強」から「中」に変え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品をつめこみ過ぎないでください。	2%	<input type="checkbox"/>
テレビ		
省エネモードに設定するとともに、画面の輝度を下げ、必要なとき以外は消してください。(標準→省エネモードに設定し、使用時間を2/3に減らした場合)	2%	<input type="checkbox"/>
照明		
不要な照明は消してください。	5%	<input type="checkbox"/>
★温水洗浄便座		
温水のオフ機能、タイマー節電機能があれば利用してください。機能がなければ、使わないときはコンセントからプラグを抜いてください。	1%未満	<input type="checkbox"/>
ジャー炊飯器		
早朝にタイマー機能で1日分をまとめて炊いて、冷蔵庫や冷凍庫に保存してください。	2%	<input type="checkbox"/>
★待機電力		
リモコンではなく、本体の主電源を切ってください。長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜いてください。	2%	<input type="checkbox"/>

日中に在宅されていないご家庭においても、★の対策にご協力をお願いいたします。

合計

%

*節電効果の記載値は、在宅家庭の日中の最大使用時(約1,200W)に対する削減率の目安です。(資源エネルギー庁推計)

*合計の削減率は目安であり、実際と異なる場合がございます。

[参考]経済産業省「夏季の節電メニュー(ご家庭の皆様)」(平成24年5月)

関西広域連合

今夏の節電のお願い(オフィス等のみなさま)

関西広域連合では、今夏の電力需給の逼迫が深刻であることから、以下のとおり節電目標等を定め、一層の節電対策を進めていくこととしています。事業者の皆様におかれましては、電力不足の現状にご理解をいただくとともに、節電対策の取組みにご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

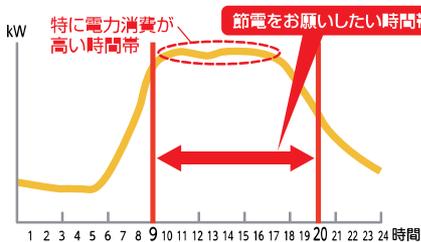
今夏の節電目標等

- ・目標：平成22年度夏季使用最大電力を基準に15%以上の節電
- ・期間：7月2日(月)から9月7日(金)までの平日(8月13日～15日を除く)
- ・時間：9時から20時まで
- ・加えて、上記節電に支障の生じない範囲で、揚水発電の供給量増のため、早朝(7時～9時)や夜(20時～25時)に市民生活や経済活動に支障を生じない範囲での消費電力の抑制を要請する。

電力消費の特徴

【1日の電気の使用量が夏期のピーク時】

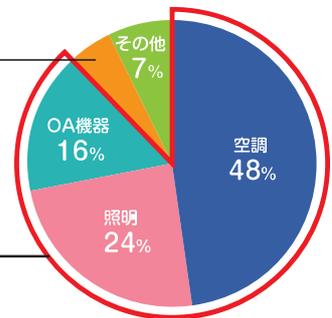
例えば、一般的なオフィスビルにおいては、
 ■(9時～17時)に高い消費電力が続きます。



【電力消費の内訳<夏期のピーク時断面>】

ピーク時の電力消費のうち、
 エレベーター5%、
 空調が約48%、
 照明及びOA機器(パソコン、コピー機等)が
 約40%を占めます。

空調、照明、OA機器で約88%



出典：資源エネルギー庁推計

節電の取組みについては、空調・照明・OA機器の電力使用の工夫をご検討願います。

節電取組み方法例

下記の効果的な節電項目の取組みにご協力をお願いいたします。

【効果的な節電項目】

照明	室内の照明を半分程度間引き(冷房負荷低減効果もあります)
	使用していないエリア(会議室、廊下等)の消灯
空調 (電気式の場合)	室内温度を28℃に設定
	使用していないエリアの空調を停止
OA機器	待機電力の抑制のために可能な範囲で、不使用機器のコンセントを抜く ●長時間使用しない時(外出・出張)は、OA機器の電源をOFF。もしくは、省エネモードに設定願います。

建物全体に対する節電効果(試算)

13%(例:800ルクス→400ルクス)
3%未満
4%(例:26℃→28℃)
2%
3%

※節電効果は、建物全体の消費電力に対する節電効果の想定割合の目安です。
 ※一定の条件の元での試算結果ですので、各々の建物の利用状況により削減値は異なります。

上記の節電項目に合わせて以下の取組みをご検討いただければ、さらに効果的です。

空調	●直射を遮るブラインド、遮熱フィルム、ひさし、すだれを活用し、室内温度の上昇を抑制 ●室外機周辺の障害物を取り除くとともに、すだれ等を活用し、直射日光を避ける ●空調機のメンテナンスや設定変更(裏面参照) 他
照明・コンセント・動力	●昼休みや休憩時間の消灯を実施 ●高効率蛍光灯やLED照明への交換 ●エレベーターやエスカレーターの稼働を停止もしくは半減 ●洗面台等の下にある電気式給湯機、給茶器、温水洗浄便座、エアアオル等のプラグをコンセントから抜く 他
その他	●デマンド監視装置を導入し、警報発生時に予め決めておいた節電対策を実施(裏面参照) ●自家発電設備(常用)の活用 他

出典：経済産業省 夏の節電メニューより抜粋

※節電の取組みにあたっては、保健衛生上、安全上等に支障をきたさないよう、十分ご配慮ください。